

///Interface Converter[™]

PHN 設定ユーティリティソフト

PHN-Manager

オペレーション
マニュアル

※この取扱説明書は PHN Manager Ver1.4.6 に対応しています。

株式会社 **パトライト**
PATLITE Corporation

はじめに

本書では、PHN シリーズのユニット用設定ソフト、「PHN Manager」の概要、構成、およびインストール手順、操作方法について説明しています。

- ・本ソフトウェアの仕様、および本書に記載されている事項は、将来予告無しに変更する場合があります。
- ・本書の全部、または一部を無断で使用、複製する事は禁止されています。
- ・本ソフトウェア、および本書を運用した結果の影響については責任を負いかねますので、ご了承下さい。
- ・Microsoft、Windows、VisualBasic は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・GrapeCity は、グレープシティ株式会社の登録商標です。
- ・SPREAD は、米国 FarPoint Technologies 社の商標です。
- ・その他、記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

安全にご使用いただくために

PC 使用時の 健康上の注意



注意

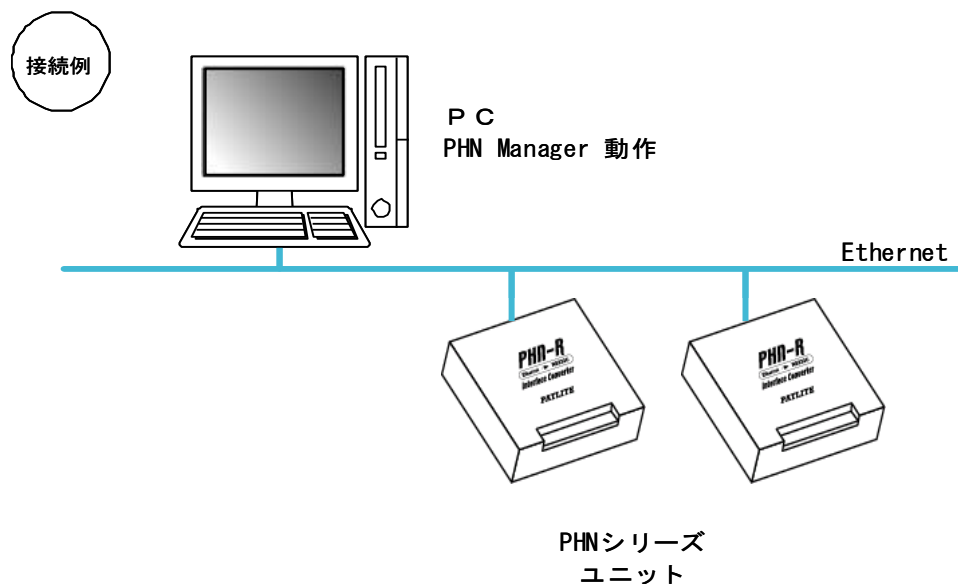
- 1時間の作業につき約 10 分程度の休憩を設ける、軽い体操を行うなど、気分転換をはかることを心がけてください。また、目の健康のため、長時間の使用はなるべく避けてください。

1	システム概要	4
1.1	概要	4
1.2	ソフトウェア動作条件	4
2	ソフトウェアのインストール	5
2.1	インストール手順	5
3	PHNManager プログラムについて	7
3.1	プログラムの起動	7
3.2	操作ウィンドウ	8
3.2.1	メニューバー	8
3.2.2	パラメータ設定画面	9
3.2.2.1	パラメータ表示部	10
3.2.3	ファームウェア書換え画面	11
3.2.3.1	パラメータ表示部	11
3.3	プログラム操作方法	12
3.3.1	設定パラメータの変更 (S、R、3FB)	12
3.3.2	設定パラメータの変更 (D88)	15
3.3.3	ファームウェア書換え (全機種共通)	17
4	製品サポート	20

1 システム概要

1.1 概要

本ソフトウェアは、イーサネット経由で PHN シリーズ製品のパラメータ設定を行うことができます。
また、ファームウェアの書き込みを行い、ユニット内ファームウェアのバージョンアップを行うことも可能です。



1.2 ソフトウェア動作条件

項目	備考
対応 OS	Windows98/Me/NT4.0(SP4 以上) /2000/XP/ Vista(32bit)/7(32bit/64bit)/8(32bit/64bit)/ 8.1(32bit/64bit)/10(32bit/64bit)
LAN 環境	10BASE-T/100BASE-T TCP/IP が動作している事



注意事項

本プログラムは Microsoft VisualBasic6.0 及び GrapeCity 製 SPREAD3.0J を用いて作成されております。
従って旧バージョンで作成されたプログラム等がインストールされている環境に本プログラムのインストールを行うと、そのプログラムが正常に動作しなくなる場合があります。

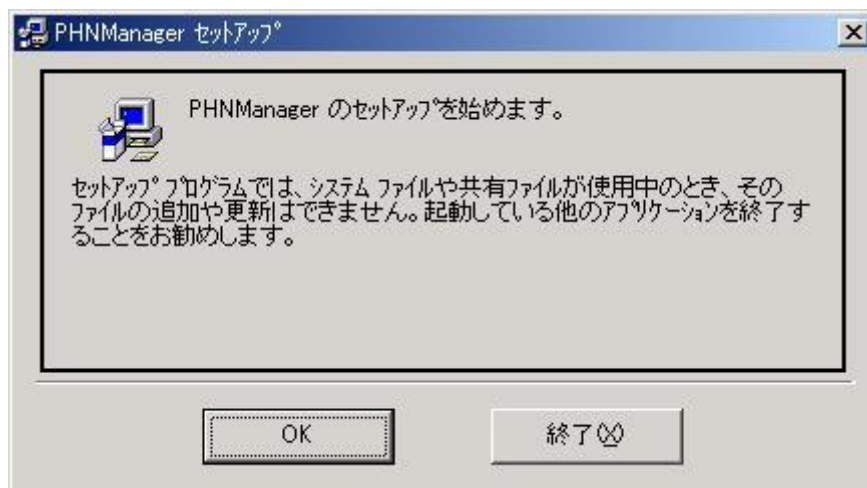
2 ソフトウェアのインストール

2.1 インストール手順

- ① コンピュータの電源を投入し、Windows を起動します。
- ② Windows の「スタート」から「ファイル名を指定して実行」を選択します。
- ③ 表示されたダイアログに、セットしたドライブ名と実行ファイル「setup.exe」のパスを指定し、「OK」を選択します。



- ④ セットアップの開始画面が表示されますので、「OK」を選択します。
その際、他に起動中のアプリケーションがあれば終了させておいて下さい。ファイルが正しくコピーされない場合があります。

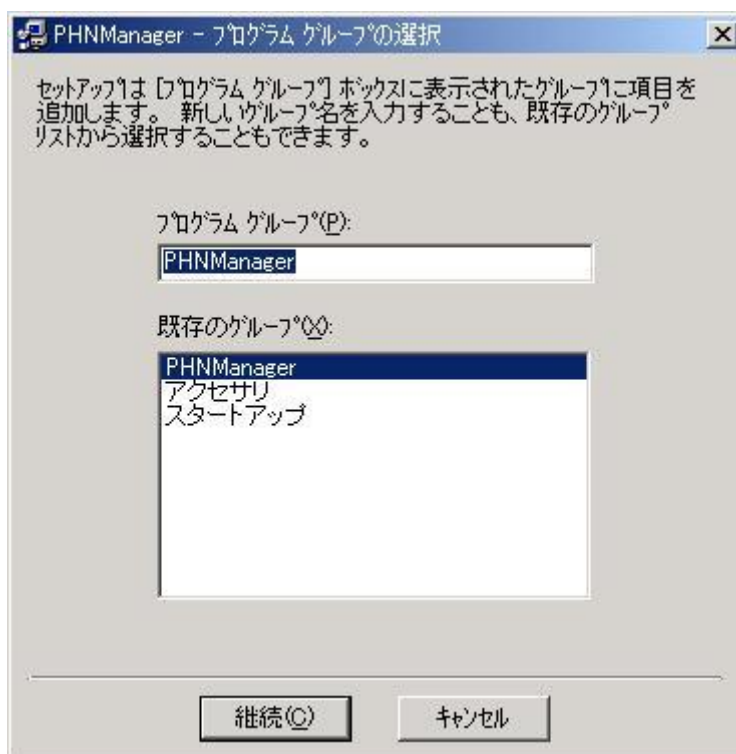


注) セットアップが開始された際に、システムファイルの更新を促す画面が表示される場合があります。
更新して良い場合は、そのままシステムファイルを更新してセットアップを続けて下さい。

- ⑤ インストール先のディレクトリの確認します。そのままであればアイコンをクリックして下さい。



- ⑥ プログラムグループへ登録を行います。変更する必要が無ければ「続行」をクリックして下さい。



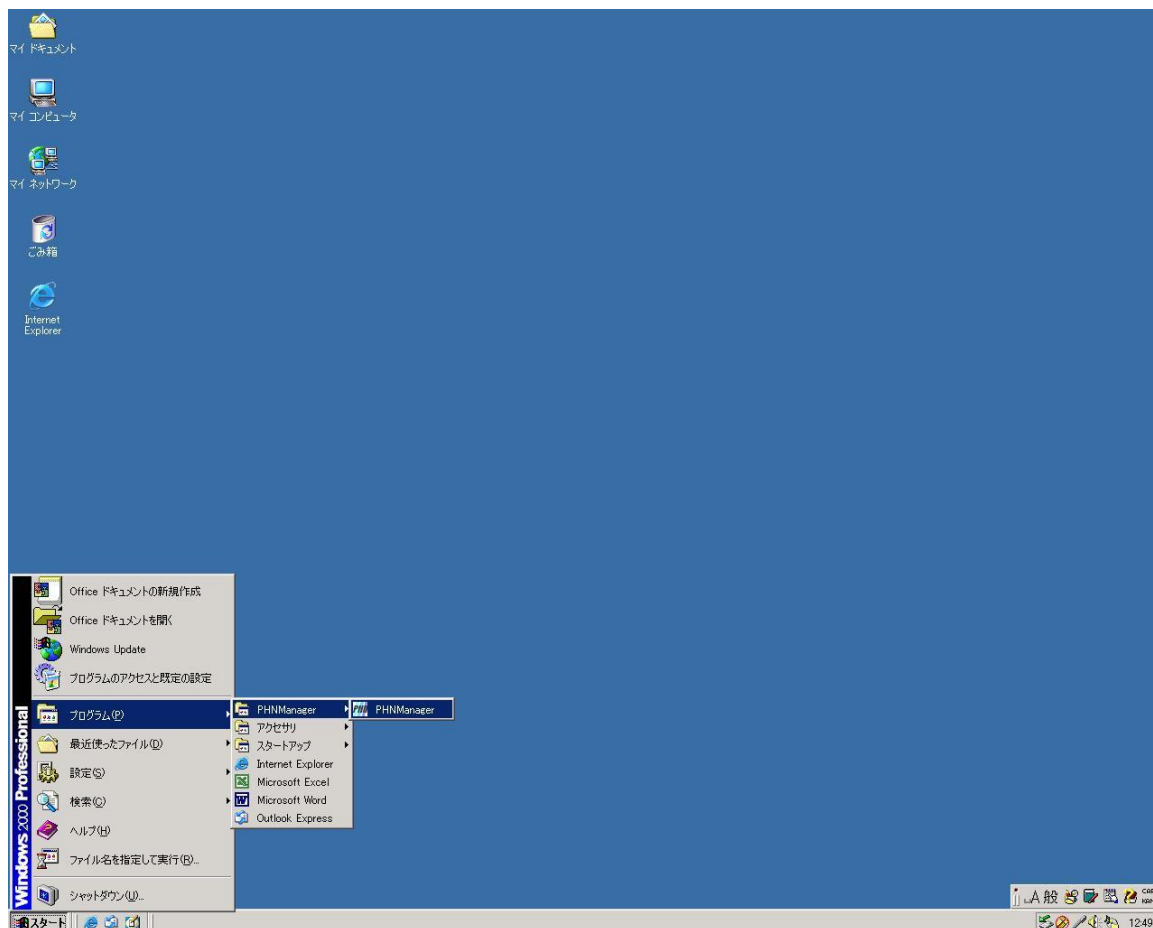
- ⑦ 「OK」でインストール完了です。



3 PHNManager プログラムについて

3.1 プログラムの起動

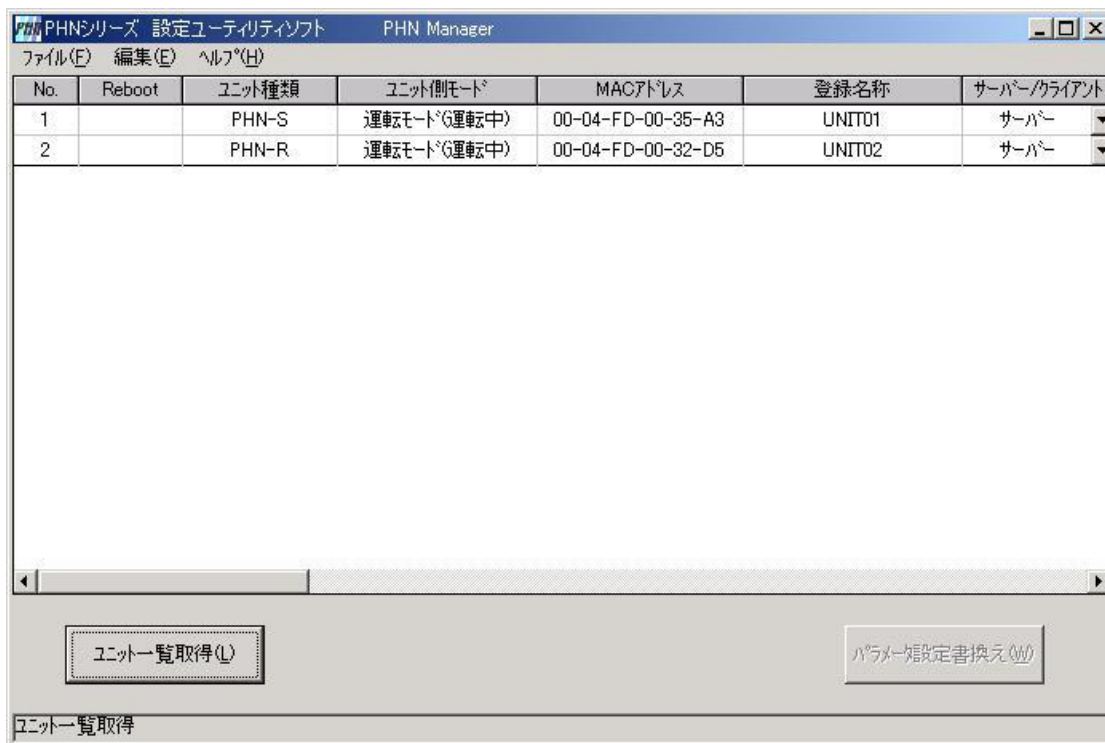
スタートメニュー内、「プログラム」から「PHN Manger」を選択します。



3.2 操作ウィンドウ

操作ウィンドウには、ユニットの運転パラメータの設定を行う「パラメータ設定画面」、ユニットのファームウェア書換えを行う「ファームウェア書換え画面」の2つがあります。

本プログラムを起動すると、メインウィンドウ（パラメータ設定画面）が表示されます。



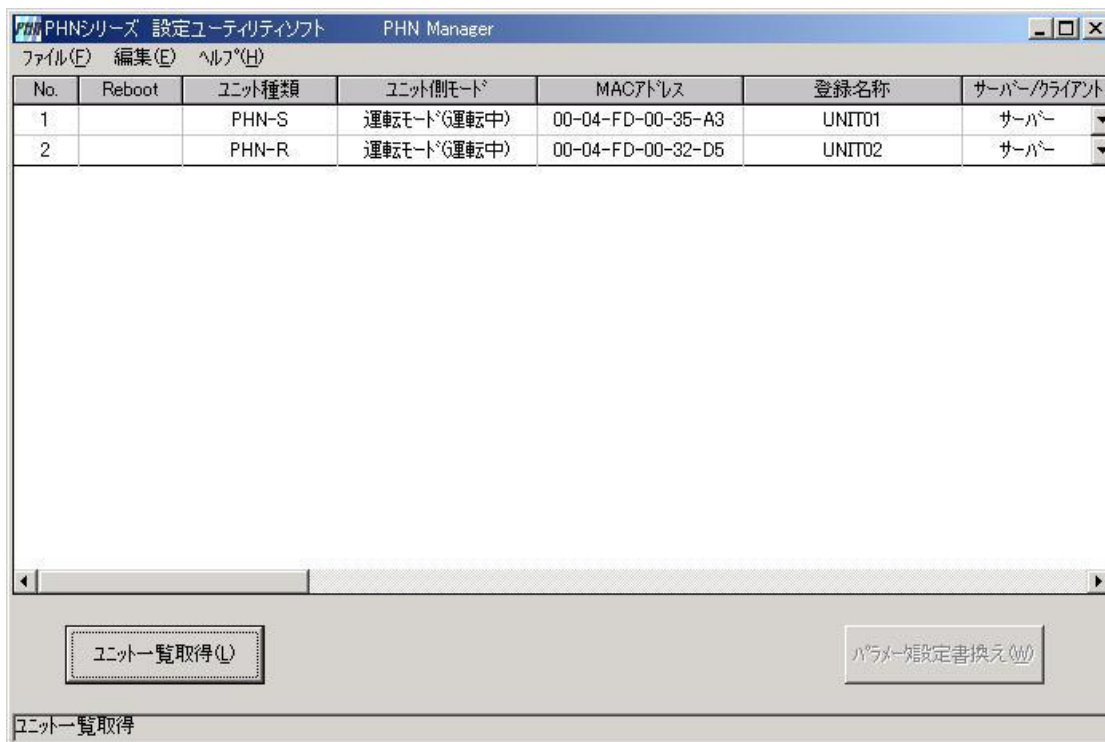
3.2.1 メニューバー

メインメニュー	サブメニュー	内容
ファイル	プログラム終了	本プログラムを終了します。
編集	パラメータ設定	パラメータ設定画面に切り替えます。
	ファームウェア書換え	ファームウェア書換え画面に切り替えます。
ヘルプ	バージョン情報	バージョン情報を表示します。

3.2.2 パラメータ設定画面

メニューバーより「編集」→「パラメータ設定」を選択します。

※PHNManager 起動時は自動的にこの画面が表示されます。



「ユニット一覧取得 (L)」ボタンを押すことで、設定可能なユニットを一覧表示します。
一覧表示されるユニットは以下の2つの条件を満たしたものです。

- 設定ソフトを同一ネットワークグループ内 (※1) にあるユニット。
- ユニットのモードが運転モードもしくは設定モードで動作しているもの。

※1 運転モード及び設定モードでは、パラメータ設定にて設定したIP、サブネットマスクの値を使用します。
PC側のIP、サブネットを変更しユニット側のネットワークグループに合わせてください。

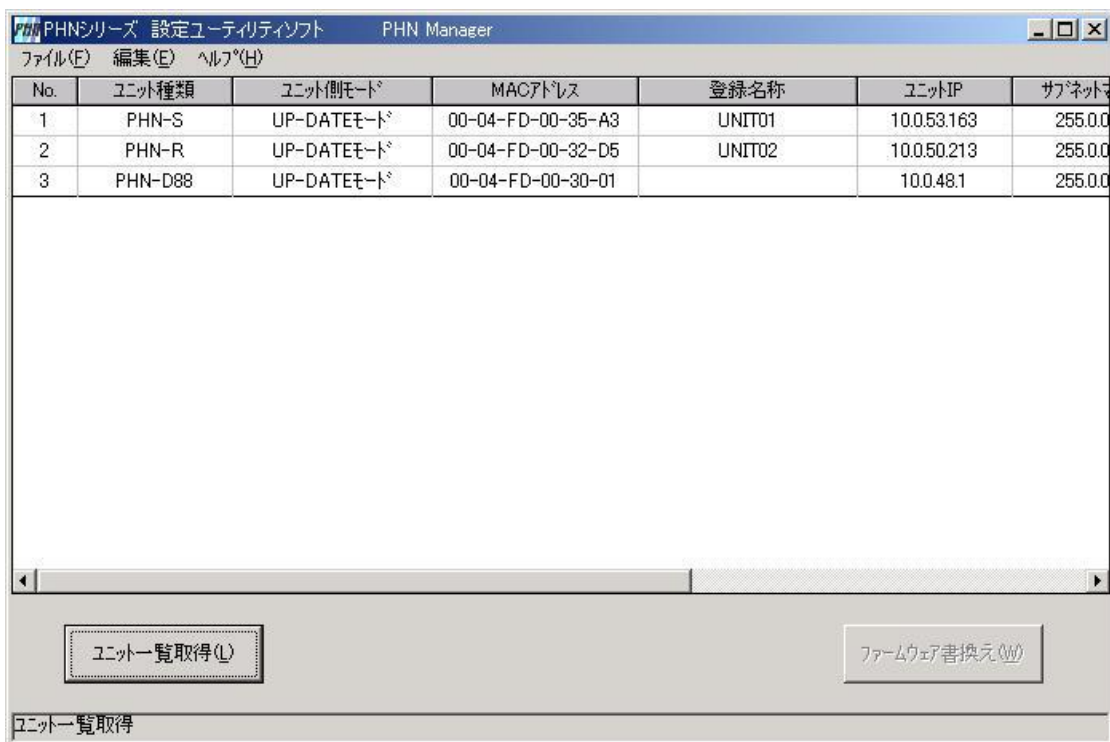
3.2.2.1 パラメータ表示部

項目	設定可能範囲	備考
No.	設定不可	接続ユニット台数の連番。 これ自体に意味はありません。
ユニット種類	設定不可	PHNの型名。
ユニット側モード	設定不可	PHNの動作モード。
MAC アドレス	設定不可	PHNが持つMAC アドレス。
登録名称	最大半角英数 20 文字	識別用名称 (任意)。
reboot	ボタン	ボタン押下によりユニット本体のリセット実行。
イーサネット設定部		
サーバー/クライアント	サーバー、クライアント、マルチサーバー、拡張マルチサーバー	リレー出力ユニットはサーバー固定。
ユニット IP	0.0.0.0~255.255.255.255	
ユニットポート	5001~65535	
サーバーIP	0.0.0.0~255.255.255.255	クライアントモード時有効。
サーバーポート	5001~65535	クライアントモード時有効。
サブネットマスク	0.0.0.0~255.255.255.255	
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0~255.255.255.255	
プロトコル	TCP、UDP	UDP 設定時には通信監視“有 (TCP、PING)”、接続切替“有”に設定できません。
シリアル設定部		
エコー	有、無	未使用
ボーレート	1200、2400、4800、9600、19200、38400、57600、115200	
データ長	7、8	
ストップビット	1、2	
パリティビット	無、偶数、奇数	
フロー制御	無、Xon/Xoff、RTS/CTS	マルチサーバー、拡張マルチサーバーモード時には“Xon/Xoff”“RTS/CTS”に設定できません。
フレームターミネータ	00~FF(HEX)	拡張マルチサーバーモード時有効。
動作関連		
通信エラー時処理	自己リセット 有り、無し	通信エラー発生時に再接続を試みるための自動的リセット動作の確認。 サーバー、クライアントモード時有効。
通信監視	有 (TCP)、有 (PING)、無	通信監視機能の有無設定。
監視用ポート	5001~65535	通信監視を行うポート番号。 通信監視設定有り (TCP) 時有効。
監視周期 (秒)	1~60000	通信監視を行う周期。 設定周期×3回の無通信状態でエラーとする。 通信監視設定有り (TCP、PING) 時有効。
接続切替	有、無	接続が確立しているクライアント以外からの接続要求があった場合の切替可否設定。 サーバーモード時有効。
ファームウェアバージョン	設定不可	ファームウェアのバージョン。
ユーザー	最大半角英数 8 文字	telnet ftp ログイン時のユーザー名。(D88 は除く)
パスワード	最大半角英数 8 文字	telnet ftp ログイン時のパスワード。(D88 は除く)

注) 各設定の詳細は「PHN シリーズ 取扱説明書」を参照してください。

3.2.3 ファームウェア書換え画面

メニューバーより「編集」－「ファームウェア書換え」を選択します。



「ユニット一覧取得 (L)」ボタンを押すことで、ファームウェア書換え可能なユニットを一覧表示します。一覧表示されるユニットは以下の2つの条件を満たしたものです。

- 設定ソフトと同一ネットワークグループ内 (※1) にあるユニット
- ユニットのモードがUP-DATE モードで動作しているもの。

※1 UP-DATE モードでは、パラメータ設定にて設定したIP、サブネットマスクの値を使用しません。

工場出荷時のIP、サブネットマスクの値を使用します。

従いまして、PC側のIP、サブネットマスクを変更しユニット側のネットワークグループに合わせてください。

3.2.3.1 パラメータ表示部

項目	備考
No.	接続ユニット台数の連番。 これ自体に意味はありません。
ユニット種類	PHNの型名。
ユニット側モード	PHNの動作モード。
MACアドレス	PHNが持つMACアドレス。
登録名称	識別用名称 (任意)。
ユニットIP	ユニットのIPアドレス。
サブネットマスク	ユニットのサブネットマスク。
デフォルトゲートウェイ	ユニットのゲートウェイ。
ファームウェアバージョン	ファームウェアのバージョン。

3.3 プログラム操作方法

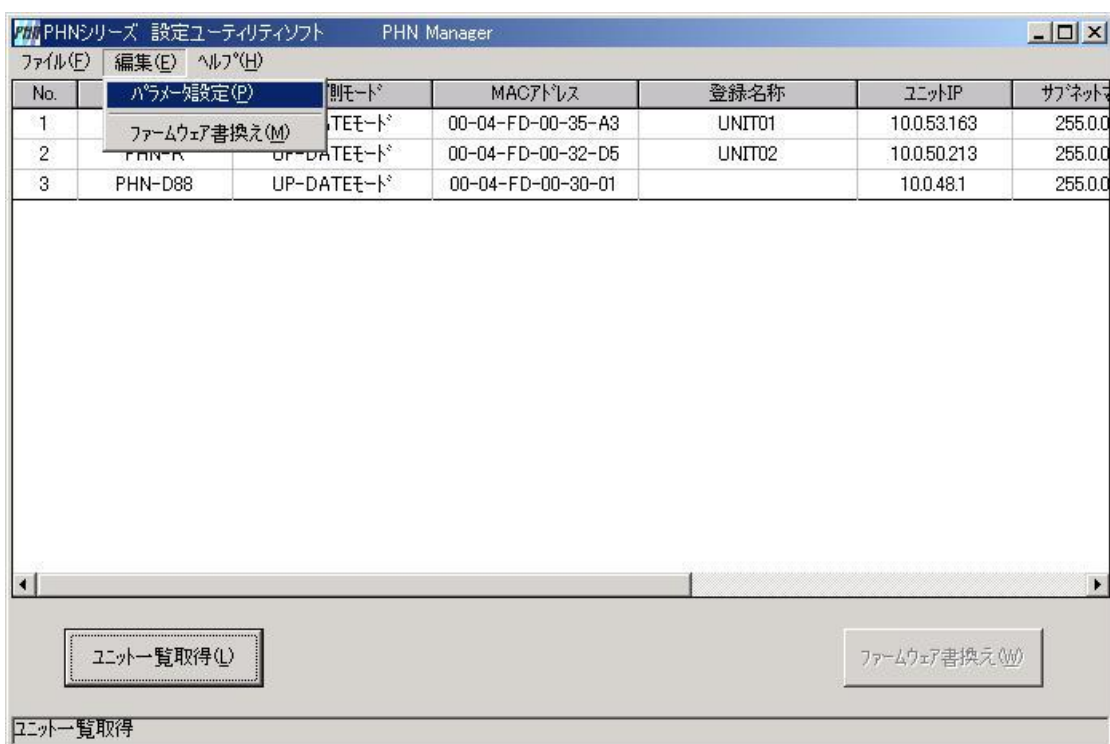
注意

本プログラム起動後の操作方法を示します。

注) 本プログラムを実装したパソコンのIPアドレスをPHN本体のIPアドレスグループ (IPアドレス、サブネットマスク) に合わせてください。
異なるIPアドレスグループの設定ですと、パラメータが取得できません。
IPアドレスグループは設定済みのIP及びサブネットマスクにより決定されます。

3.3.1 設定パラメータの変更 (S、R、3FB)

メニューバーより「編集」 - 「パラメータ設定」を選択します。



取得したパラメータ値の中で変更したデータがある場合、そのデータ部分をクリックします。

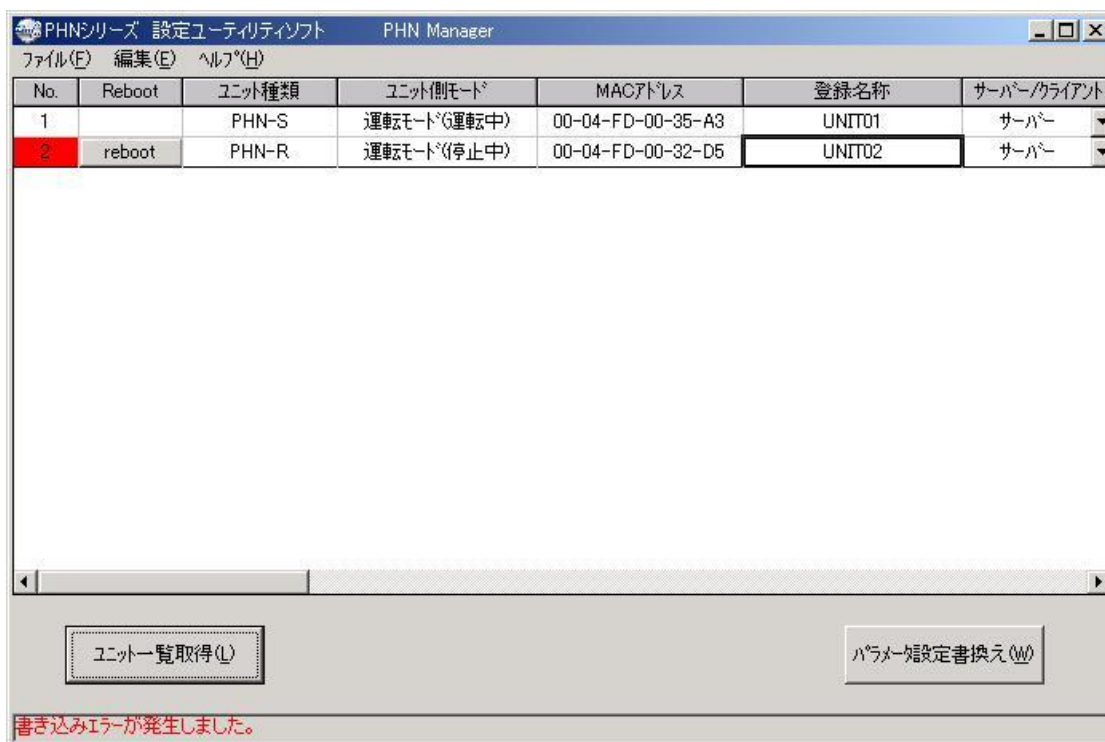
編集モードになりますのでデータ値を変更してください。

データを変更するとその場所、及びNo、欄がシアン色表示 になります。

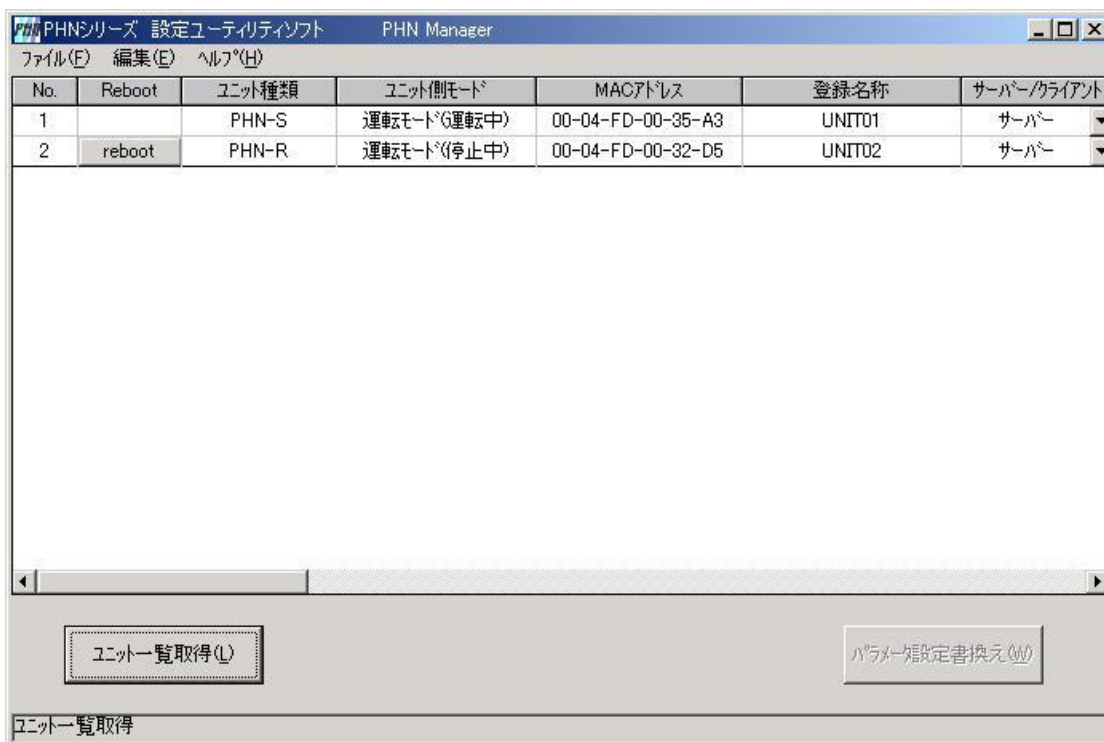


変更後、ウィンドウ右下にある「パラメータ設定書換え (W)」ボタンをクリックすることで、選択しているユニットに対して、設定パラメータを書換えます。

何らかの原因で書き込みが失敗した場合、失敗した PHN 本体の No. 欄が赤色表示となります。設定、配線等をご確認の上、再度「パラメータ設定書換え (W)」ボタンをクリックしてください。



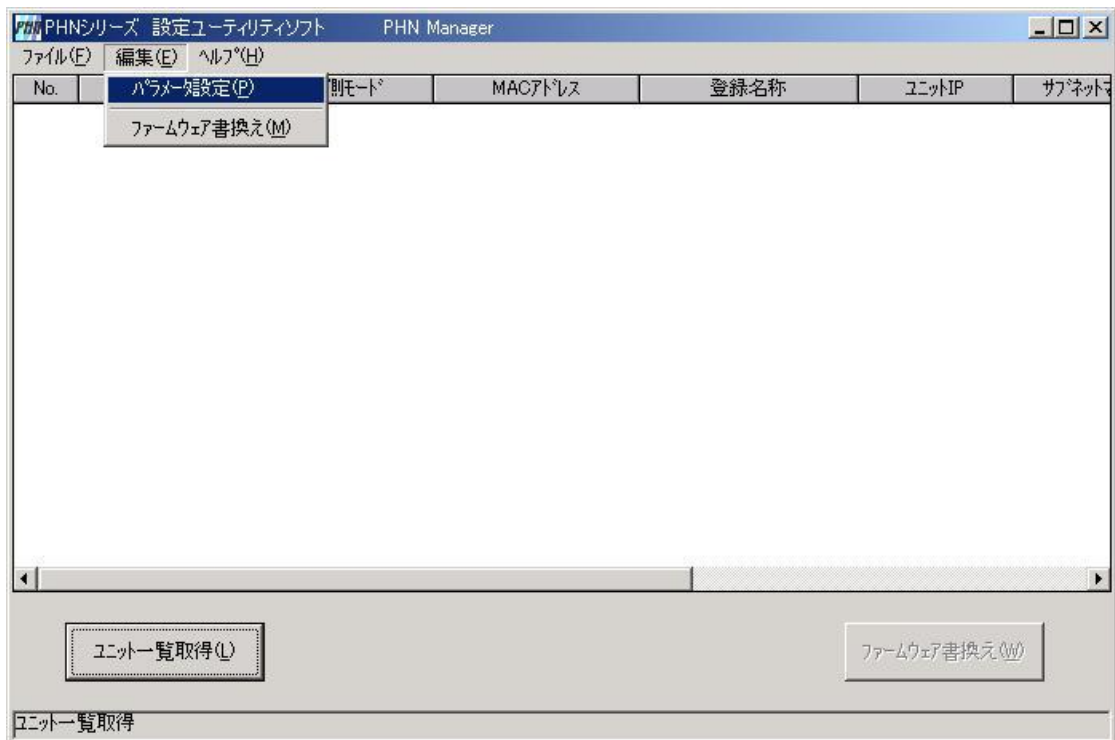
パラメータの書換えが正常に終了するとシアン色表示が消え、左側に reboot ボタンが現れます。
reboot ボタンを押すと、ユニットを再起動します。(再起動しないと変更したパラメータが有効になりません)



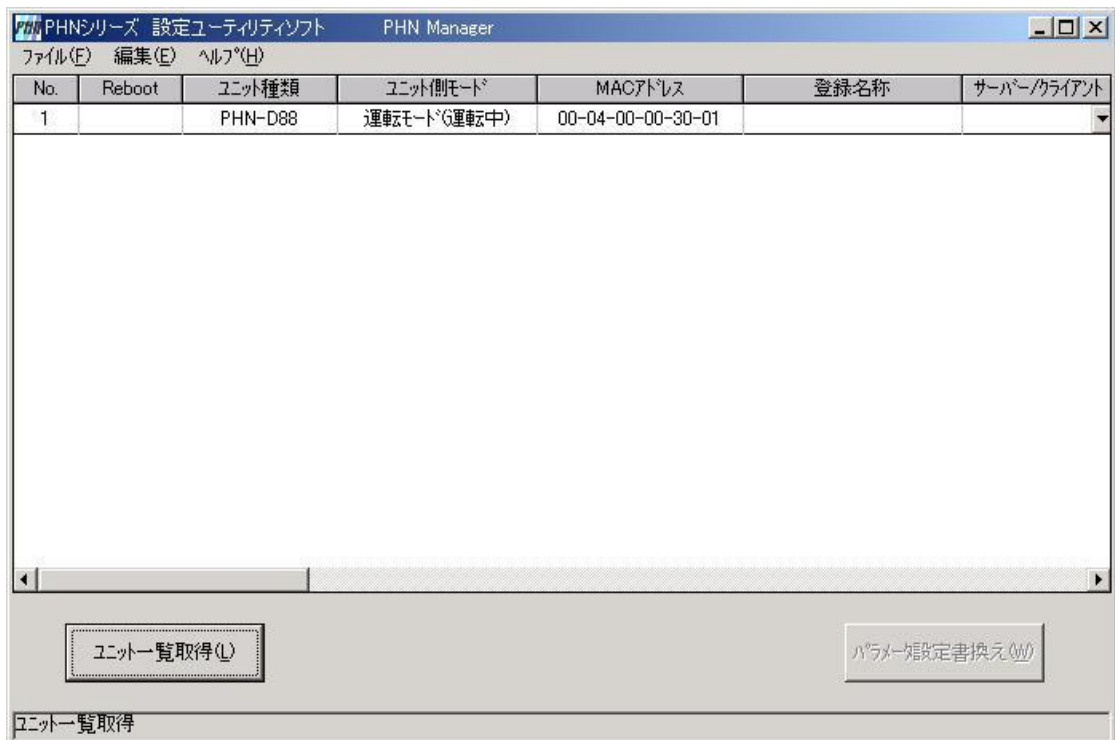
reboot ボタンを押すと、ユニットは再起動する為、一覧から消えます。
一定時間後 (10 秒程度)、「ユニット一覧取得 (L)」ボタンを押すと変更した値で一覧に表示されます。

3.3.2 設定パラメータの変更 (D88)

メニューバーより「編集」 - 「パラメータ設定」を選択します。

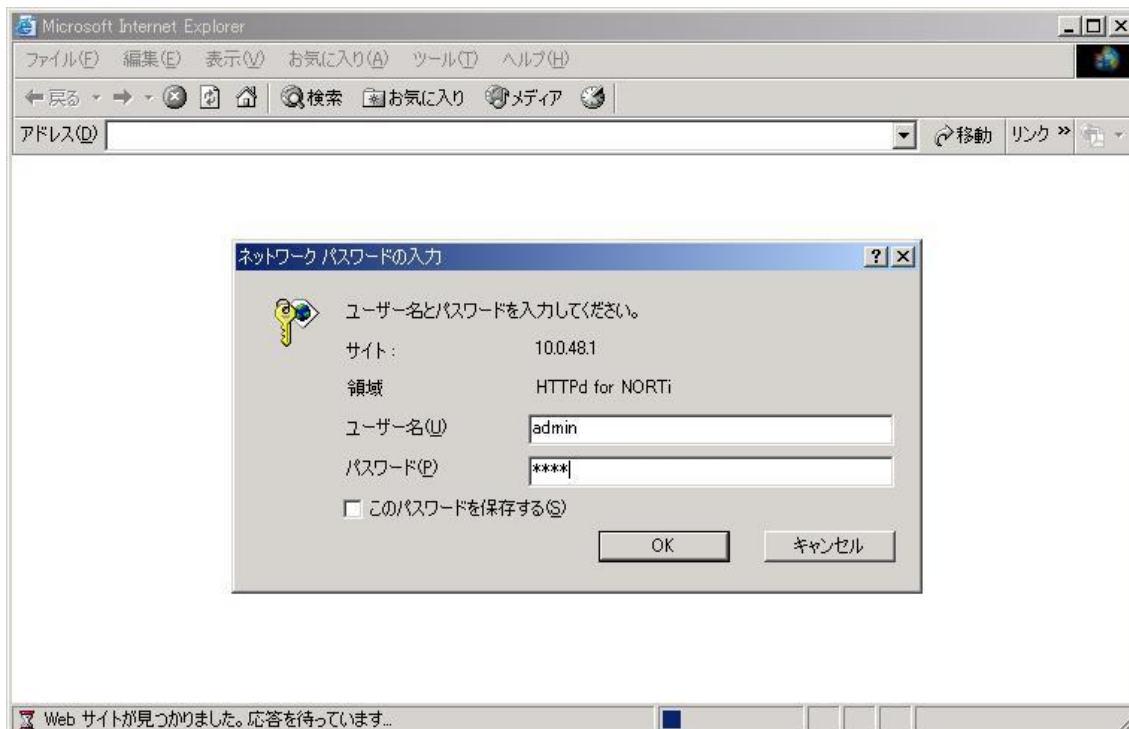


一覧より設定変更を行うユニットをダブルクリックします。



WEB ブラウザが立ち上がり、ダブルクリックで選択したユニットへログインを行います。

注) ユーザー名/パスワードは「PHN シリーズ 取扱説明書」を参照してください。

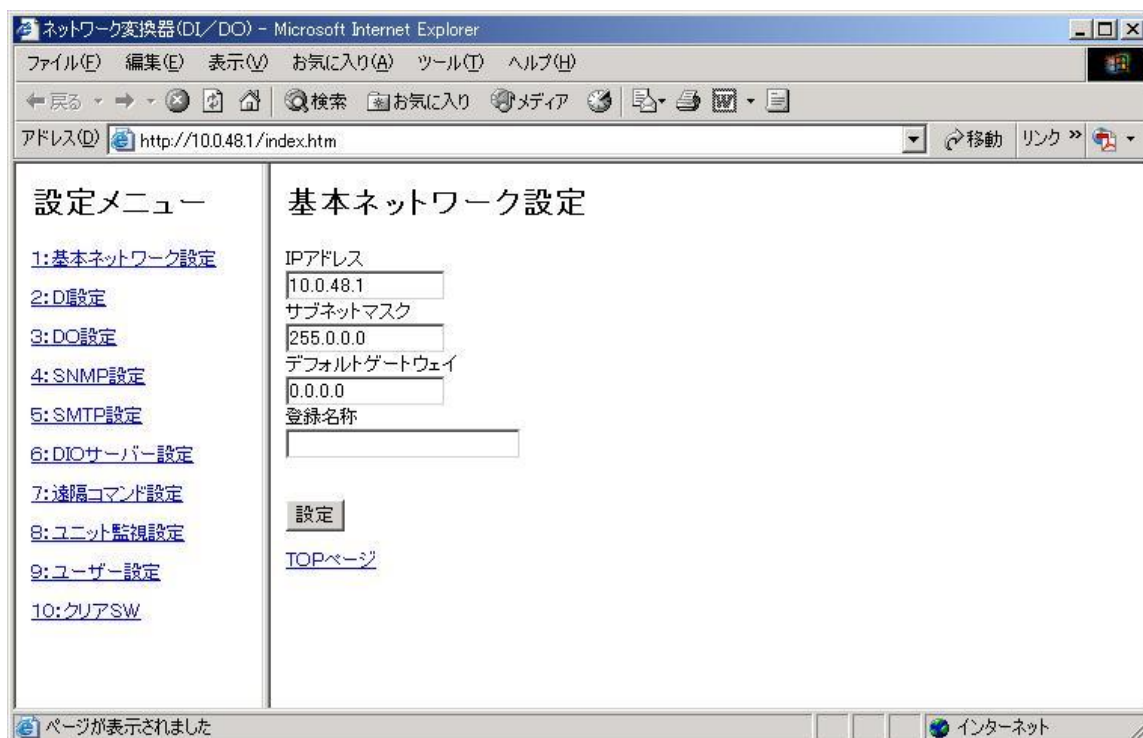


注) D88 ユニットの設定における PHNManager の役割は、「WEB ブラウザからの設定機能」に対してアクセスを行い、設定画面を呼び出すツール機能として働きます。

以下が PHNManager の機能となります。

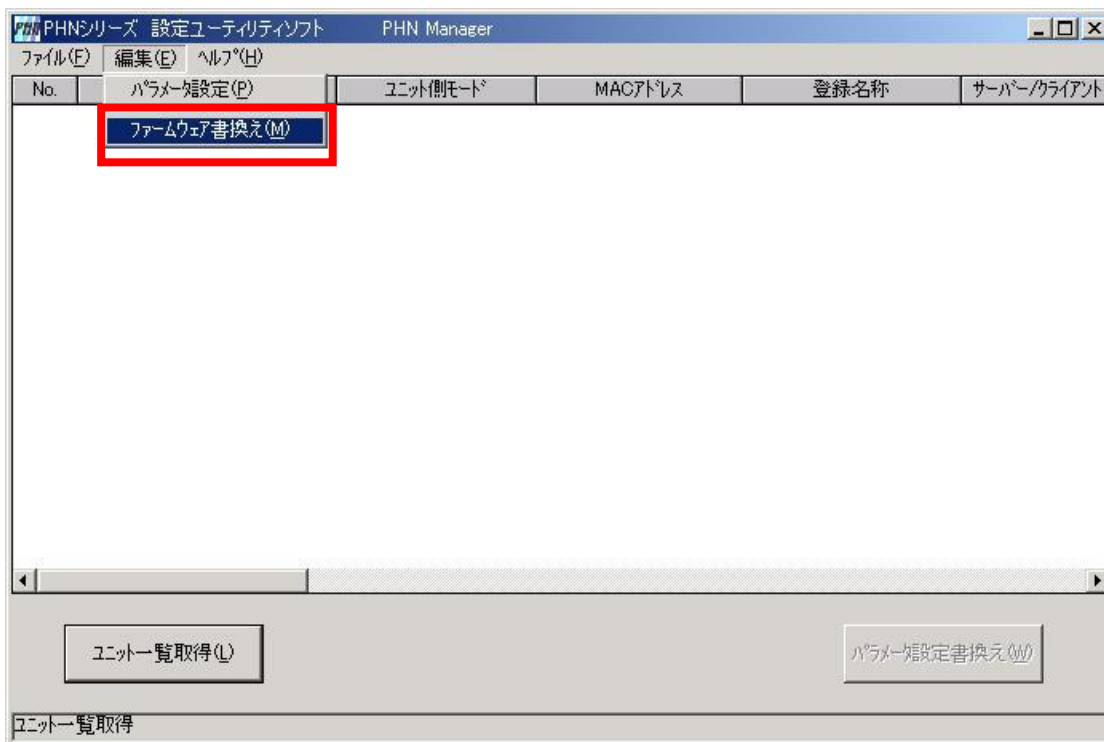
- ・取得したユニット情報の一覧表示を行う
- ・表示したユニットの中から、選択されたユニットに対して WEB 設定の認証の取得を行う

ログイン後はブラウザに表示される項目に従い設定を行ってください。

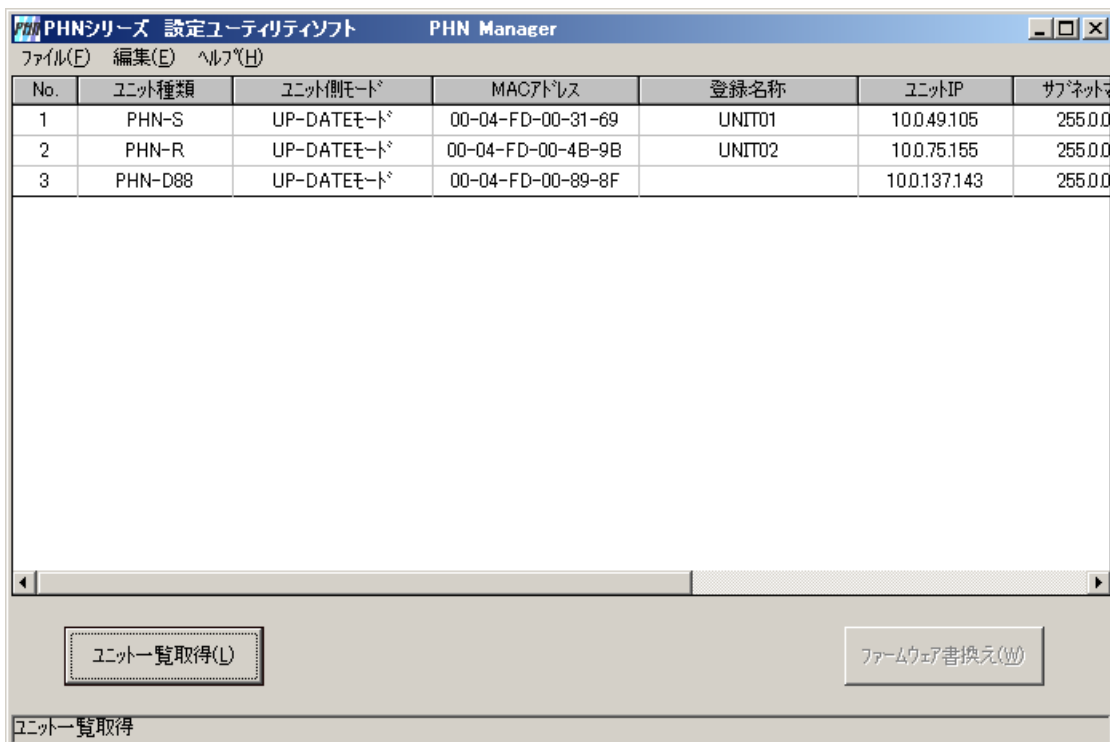


3.3.3 ファームウェア書換え

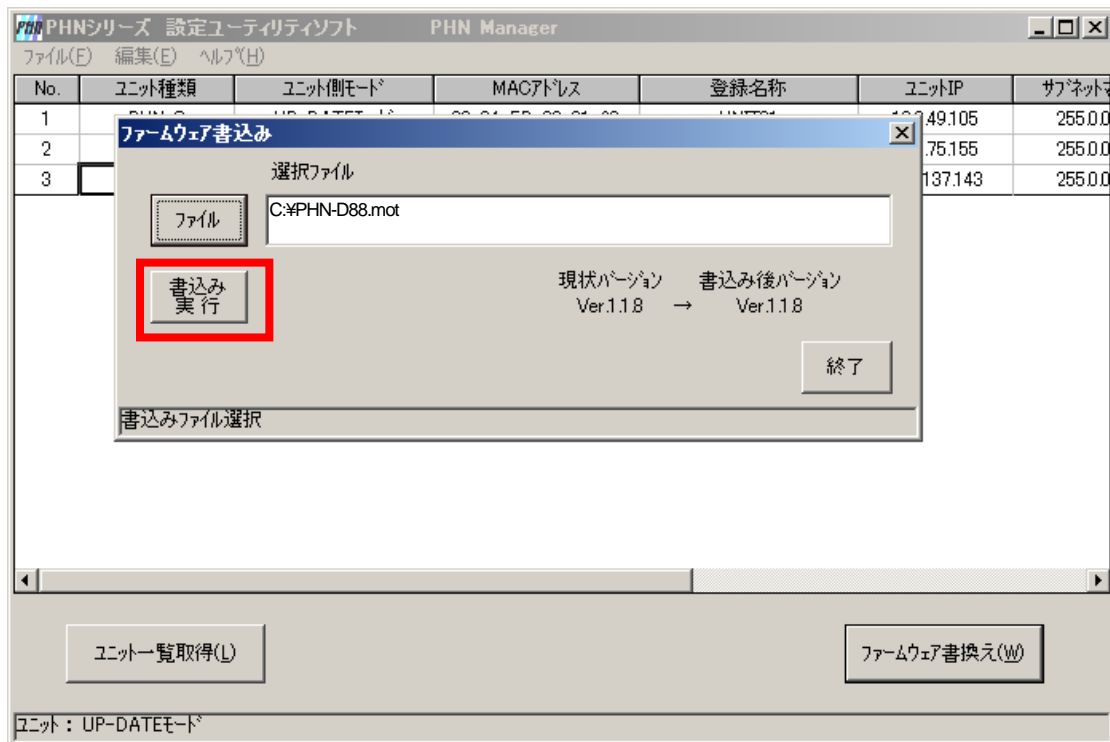
メニューバーより「編集」－「ファームウェアの書換え」を選択します。



動作モードが「UP-DATE モード」になっている PHN 本体に対しファームウェアの書込みを行うことができます。ファームウェアを書換えたい PHN 本体を選択（いずれかをクリック）し、ウィンドウ右下の「ファームウェア書換え (W)」ボタンをクリックしてください。



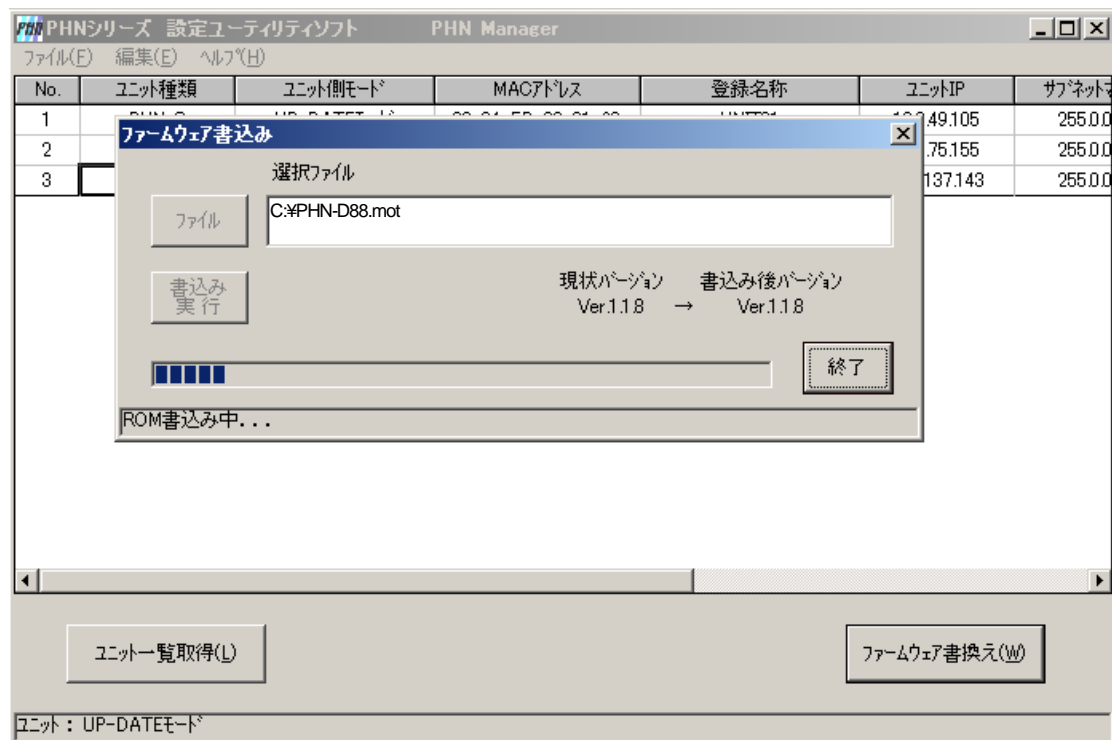
ファームウェア書き込み画面が起動、現在のファームウェアバージョンが表示されます。
「ファイル」ボタンをクリックし、書き込むファームウェアのファイルを指定してください。
選択できるファイルの拡張子は (*.mot) です。それ以外のファイルは選択しないでください。



書き込み後のバージョンを確認し、実行してよければ「書き込み実行」ボタンをクリックします。
ここから PHN へのファームウェアの転送が始まります。

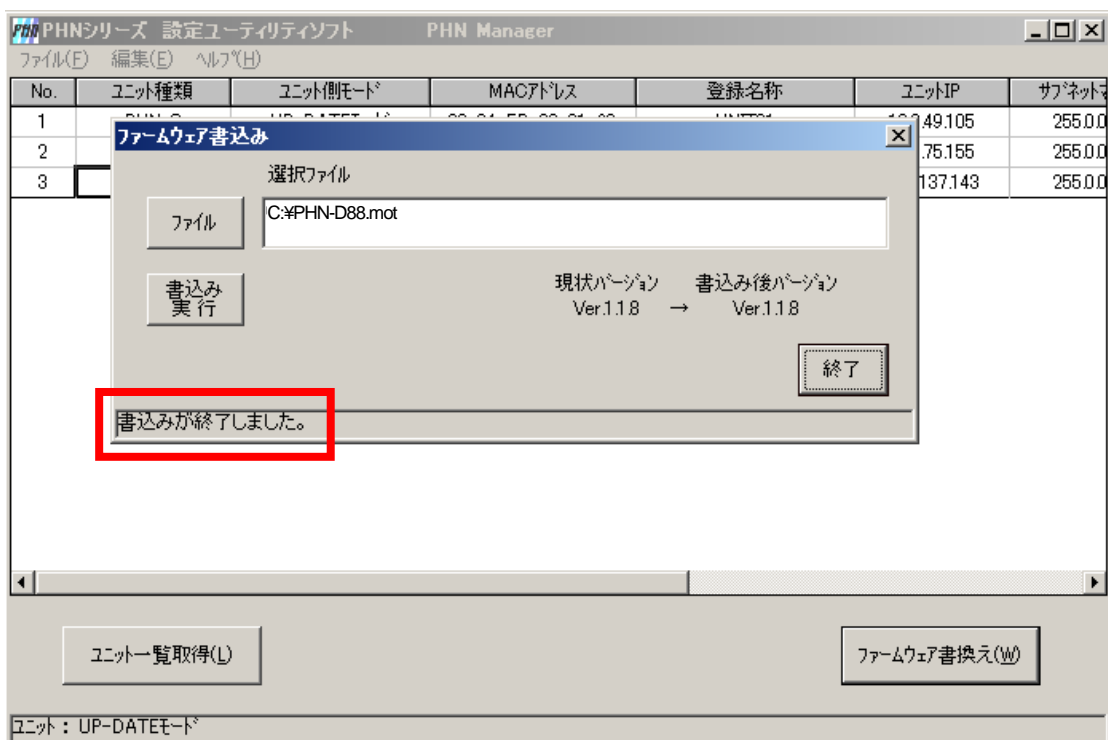
処理は以下の様な流れになります。

ファームウェア転送→ユニット内 ROM 初期化→ファームウェア書き込み→終了

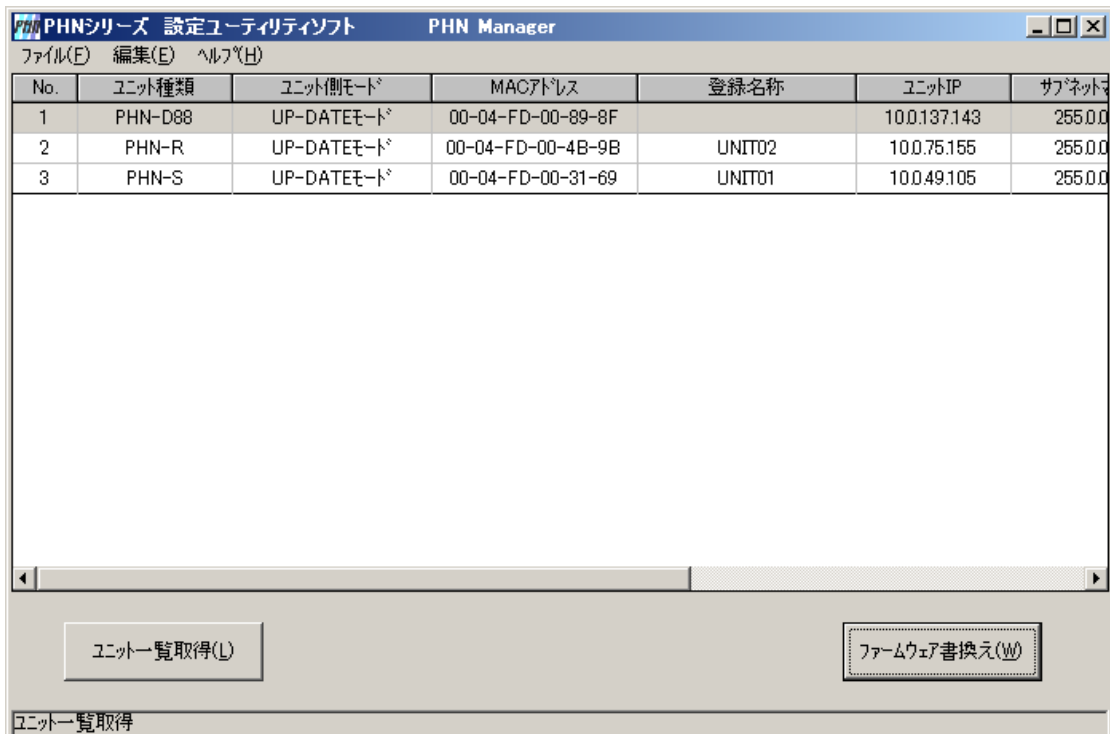


処理状況はコメント+バー表示されます。

「書き込みが終了しました。」メッセージが表示されれば完了です。



書き込みが完了したユニットは表示欄にグレー表示されます。



4 製品サポート

製品サポートについては、下記にて受け付けております。

技術相談口:  0120-497-090

受付 9:00~17:00(土・日・祝日は留守番電話による対応) FAX 079-568-6604

ハードウェアの故障などにより製品修理をご依頼いただく場合、弊社作業上、IP アドレスなどの本体諸設定情報は初期化してのご返却となります。ご面倒ですが、必ずお客様で設定いただきました諸設定情報の控えをとっていただき、ご返却後お客様にて再設定を行っていただきますようお願いいたします。
また、修理後 MAC アドレスを変更して、ご返却させていただきます。

PATLITE Corporation G2J

PATLITE Corporation ※Head office	■ www.patlite.com/
PATLITE (U.S.A.) Corporation	■ www.patlite.com/
PATLITE Europe GmbH ※Germany	■ www.patlite.eu/
PATLITE (SINGAPORE) PTE LTD	■ www.patlite-ap.com/
PATLITE (CHINA) Corporation	■ www.patlite.cn/
PATLITE KOREA CO., LTD.	■ www.patlite.co.kr/
PATLITE TAIWAN CO., LTD.	■ www.patlite.tw/
PATLITE (THAILAND) CO., LTD.	■ www.patlite.co.th/
PATLITE MEXICO S.A. de C.V.	■ www.patlite.com.mx/

世界中に「安心・安全・楽楽」をお届けする

株式会社 **パトライト**

<https://www.patlite.co.jp>